



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月8日

上場会社名 ニシオホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 9699 URL <https://nishio-grp.co.jp/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 西尾 公志
問合せ先責任者 （役職名） 取締役（管理部門担当） （氏名） 四元 一夫 TEL 06（6251）7302
半期報告書提出予定日 2025年5月12日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	111,543	9.9	11,421	11.1	11,192	12.4	7,297	14.0
2024年9月期中間期	101,464	7.3	10,283	9.2	9,954	8.6	6,402	7.7

（注）包括利益 2025年9月期中間期 6,968百万円（3.8%） 2024年9月期中間期 6,710百万円（12.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	262.85	262.77
2024年9月期中間期	230.62	230.54

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	306,770	137,192	44.0
2024年9月期	290,682	134,311	45.5

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 134,861百万円 2024年9月期 132,146百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	126.00	126.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	128.00	128.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	208,000	4.5	18,550	2.8	17,800	2.3	11,800	1.7	425.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	28,391,464株	2024年9月期	28,391,464株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年9月期中間期	628,918株	2024年9月期	629,518株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年9月期中間期	27,762,204株	2024年9月期中間期	27,761,501株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信〔添付資料〕3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年10月1日から2025年3月31日)におけるわが国経済は、企業収益は堅調で設備投資も底堅く推移しましたが、資源価格の高騰や建設・運送業界の2024年問題等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建設業界においては、各地の物流倉庫や工場等の新設工事、都市部の再開発等が継続して行われる一方で、作業員不足や原材料の高騰・不足等の影響により新規工事の遅れや見直しの動きも見られました。また、公共工事は施工時期の平準化が浸透しつつあります。大阪・関西万博関連では、設備・内装工事が最盛期となり、順次竣工を迎えました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、中期経営計画“Next Stage 2026”に基づき、建設ロジスティックスや仮設のチカラ、建設DX等の重点施策を進めるとともに、2025年4月にはグループ内再編を実施し、経営効率の向上に取り組んでおります。

その結果、連結売上高111,543百万円(前年同期比109.9%)、営業利益11,421百万円(同111.1%)、経常利益11,192百万円(同112.4%)、親会社株主に帰属する中間純利益7,297百万円(同114.0%)となりました。また、EBITDAは31,340百万円(同105.6%)となりました。

なお、米国の関税政策が当社グループの事業及び連結業績に与える影響は軽微であります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

[レンタル関連事業]

道路・土木関連分野では、施工時期の平準化により年度末における工事の集中が緩和するなか、DX商品やカメラ等を活用したICT関連工事の対応を足掛かりに汎用機の受注や地元ユーザーの拡大に努めた他、駅改良、路線延伸等の鉄道関連工事が売上に貢献しました。

建築・設備関連分野では、各地の物流倉庫や工場等の新設工事、都市部の再開発が引き続き好調で売上を牽引しましたが、順次竣工を迎えており、端境期に入りつつあります。プラント関連は、定期点検・修繕工事の需要を取り込み、西日本を中心に好調でした。

イベント分野では、音楽・スポーツイベントにおいてステージやブースの部材、テントに加え、中継用の商材が売上に貢献した他、企業の式典や展示会向けの受注もありました。また、大阪・森ノ宮の暫定利用地に開設された体験型テーマパークでは、コンテナを活用したトイレや厨房施設の提供を開始しており、仮設のチカラの事業確立を推進しております。

大阪・関西万博関連では、設備・内装工事がピークを迎えるなか、会場の交通ターミナルにおいて養生材、大型テントが稼働し、海外パビリオン3館の建設に関与した他、会期中の対応に関する引き合いも増え、各施設向けの発電機やメンテナンス用の高所作業車等を受注しました。

その結果、売上高107,589百万円(前年同期比111.2%)、営業利益10,892百万円(同112.2%)となりました。

[その他]

海外製建機販売は納入先の現場の遅れの影響を受けており、また製造会社においては海外の景気動向や原材料の高騰もあったことから、売上高3,953百万円(前年同期比83.3%)、営業利益306百万円(同77.9%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、306,770百万円と、対前連結会計年度末比で105.5%、16,088百万円の増加となりました。主な要因は現金及び預金の増加7,823百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加3,264百万円及び流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加6,044百万円であります。

負債合計は、169,577百万円と、対前連結会計年度末比で108.4%、13,206百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加7,248百万円、流動負債・その他に含まれる設備関係未払金の増加3,444百万円、長期借入金の増加4,977百万円及びリース債務の増加1,243百万円、並びに流動負債・その他に含まれる未払消費税等の減少1,144百万円であります。

純資産合計は、137,192百万円と、対前連結会計年度末比で102.1%、2,881百万円の増加となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ7,823百万円増加して57,435百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、14,714百万円の収入（前年同期は14,467百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益10,998百万円その他、減価償却費16,955百万円、賃貸資産の取得による支出10,590百万円及び法人税等の支払額3,938百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,243百万円の支出（前年同期は4,831百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,953百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4,653百万円の支出（前年同期は4,981百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入10,900百万円に対し、有利子負債の返済による支出12,025百万円及び配当金の支払額3,498百万円が上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月8日に公表しました業績予想からの変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	49,822	57,645
受取手形、売掛金及び契約資産	46,657	49,921
商品及び製品	5,065	5,088
仕掛品	1,299	2,245
原材料及び貯蔵品	1,793	1,856
その他	9,177	15,456
貸倒引当金	△1,083	△762
流動資産合計	112,732	131,451
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	88,855	88,345
土地	37,365	37,379
その他（純額）	38,775	38,242
有形固定資産合計	164,996	163,968
無形固定資産		
のれん	1,017	855
その他	1,643	1,484
無形固定資産合計	2,660	2,340
投資その他の資産		
その他	10,654	9,641
貸倒引当金	△362	△631
投資その他の資産合計	10,291	9,010
固定資産合計	177,949	175,318
資産合計	290,682	306,770
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,489	33,738
短期借入金	5,526	5,481
1年内返済予定の長期借入金	10,727	11,425
1年内償還予定の社債	150	—
リース債務	13,163	13,282
未払法人税等	4,472	3,736
賞与引当金	3,154	2,946
役員賞与引当金	216	137
その他	22,728	24,482
流動負債合計	86,629	95,231

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
固定負債		
社債	525	—
長期借入金	38,730	43,010
リース債務	26,391	27,516
役員退職慰労引当金	257	204
退職給付に係る負債	996	1,005
資産除去債務	1,096	1,132
その他	1,743	1,477
固定負債合計	69,741	74,345
負債合計	156,370	169,577
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	7,131	7,133
利益剰余金	114,514	117,746
自己株式	△1,881	△1,879
株主資本合計	127,865	131,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	465	406
繰延ヘッジ損益	1	19
為替換算調整勘定	3,814	3,334
その他の包括利益累計額合計	4,281	3,760
新株予約権	10	10
非支配株主持分	2,153	2,320
純資産合計	134,311	137,192
負債純資産合計	290,682	306,770

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	101,464	111,543
売上原価	60,399	66,660
売上総利益	41,065	44,882
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	124	44
給料及び賞与	10,210	10,885
賞与引当金繰入額	2,511	2,792
役員賞与引当金繰入額	109	137
退職給付費用	389	402
役員退職慰労引当金繰入額	17	42
その他	17,418	19,156
販売費及び一般管理費合計	30,782	33,460
営業利益	10,283	11,421
営業外収益		
受取利息	49	48
受取配当金	10	7
補助金収入	125	12
受取補償金	9	160
その他	355	507
営業外収益合計	550	737
営業外費用		
支払利息	735	846
為替差損	111	67
その他	31	51
営業外費用合計	879	966
経常利益	9,954	11,192
特別利益		
固定資産売却益	41	32
投資有価証券売却益	4	—
特別利益合計	45	32
特別損失		
固定資産除売却損	27	163
投資有価証券評価損	—	63
特別損失合計	27	226
税金等調整前中間純利益	9,973	10,998
法人税、住民税及び事業税	3,674	3,596
法人税等調整額	△197	13
法人税等合計	3,476	3,609
中間純利益	6,496	7,388
非支配株主に帰属する中間純利益	94	91
親会社株主に帰属する中間純利益	6,402	7,297

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	6,496	7,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	△59
繰延ヘッジ損益	△27	18
為替換算調整勘定	△2	△379
その他の包括利益合計	214	△420
中間包括利益	6,710	6,968
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	6,600	6,777
非支配株主に係る中間包括利益	109	191

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,973	10,998
減価償却費	16,575	16,955
のれん償却額	166	241
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	64	△61
賞与引当金の増減額 (△は減少)	92	△220
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51	△79
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	31	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△50	△55
受取利息及び受取配当金	△60	△55
支払利息	735	846
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	63
固定資産除売却損益 (△は益)	△13	131
賃貸資産の売却による原価振替高	513	497
賃貸資産の取得による支出	△12,469	△10,590
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,074	△2,861
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△712	△658
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,010	7,058
その他	1,195	△2,778
小計	17,925	19,433
利息及び配当金の受取額	97	56
利息の支払額	△672	△837
法人税等の支払額	△2,882	△3,938
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,467	14,714
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△210	△210
定期預金の払戻による収入	210	210
短期貸付金の増減額 (△は増加)	146	△5
有形固定資産の取得による支出	△4,048	△1,953
有形固定資産の売却による収入	9	48
無形固定資産の取得による支出	△164	△80
投資有価証券の取得による支出	△10	△1
投資有価証券の売却による収入	7	—
関係会社株式の取得による支出	△44	—
長期貸付けによる支出	△120	—
長期貸付金の回収による収入	40	1
敷金及び保証金の差入による支出	△687	△338
敷金及び保証金の回収による収入	40	85
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,831	△2,243

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	61	15
長期借入れによる収入	8,859	10,900
長期借入金の返済による支出	△4,190	△5,240
社債の償還による支出	△75	△664
リース債務の返済による支出	△6,416	△6,112
割賦債務の返済による支出	△21	△7
配当金の支払額	△3,109	△3,498
非支配株主への配当金の支払額	△88	△44
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,981	△4,653
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,623	7,731
現金及び現金同等物の期首残高	42,828	49,612
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	91
現金及び現金同等物の中間期末残高	47,452	57,435

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告 セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	96,719	4,744	101,464	—	101,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	30	177	208	△208	—
計	96,750	4,922	101,673	△208	101,464
セグメント利益	9,707	393	10,100	182	10,283

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額182百万円には、セグメント間取引消去△1,291百万円及び各報告セグメントに配分していない全社収益及び費用1,474百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメントに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告 セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	107,589	3,953	111,543	—	111,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	300	325	△325	—
計	107,614	4,254	111,868	△325	111,543
セグメント利益	10,892	306	11,199	222	11,421

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外製建機の輸入販売、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額222百万円には、セグメント間取引消去△5,456百万円及び各報告セグメントに配分していない全社収益及び費用5,679百万円が含まれております。全社収益は、報告セグメントに帰属しない収益であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。